

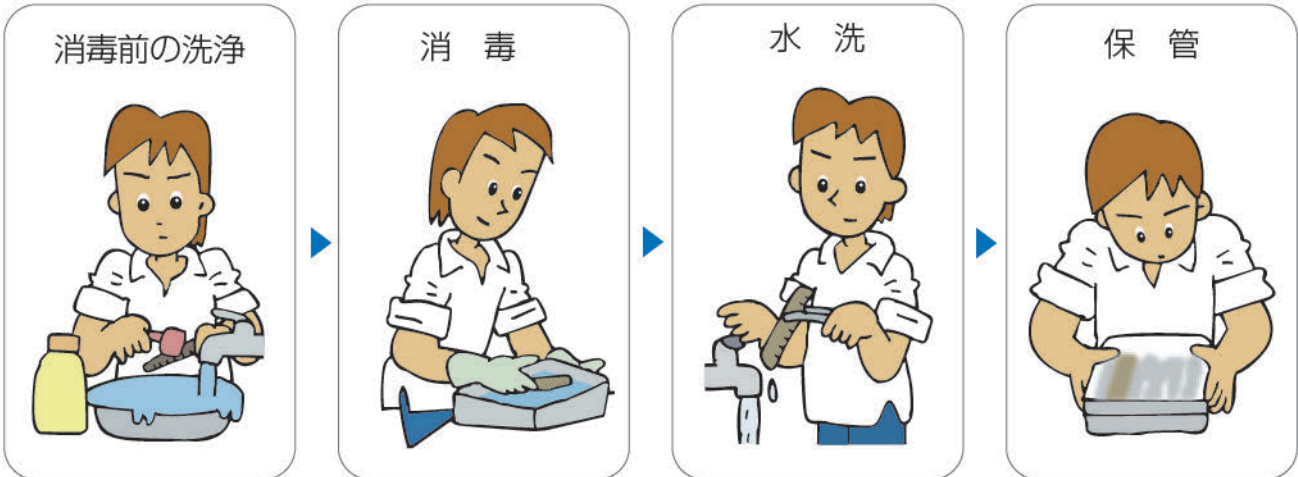
理容師・美容師のみなさんへ

新しい消毒方法を 実行しましょう!!

理容師法施行規則及び美容師法施行規則により、平成 12 年 9 月 1
日から理容所、美容所での消毒の方法は、感染症対策の充実強化の
観点から、けつえきばいかいせい血液媒介性のウイルスにも消毒効果のある消毒方法に改
正されています。新しい消毒方法を確実に実行して下さい。



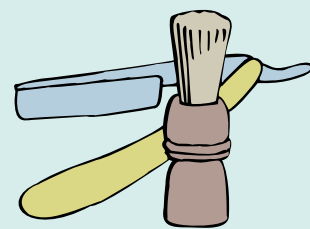
消毒の手順



❖ 皮ふに接する器具の分類 皮ふに接する器具を大きく2つに分けます。

① カミソリ（頭髪のカットのみの用途〔レザーカット〕に使用するカミソリを除く。【注】）とカミソリ以外の器具で、血液の付着しているもの、またはその疑いのあるもの。

【注】カミソリには、顔そり、襟足そり、頭髪のカットなど、用途により何種類かありますが、ここでは血液の付着の有無にかかわらず、顔そりのように直接肌に接する使い方をするカミソリを指します。



洗浄と消毒

消毒する前に十分洗浄することが必要です。「理容師法施行規則第25条」および「美容師法施行規則第25条」で、消毒前に十分な洗浄をすることを明記しています。

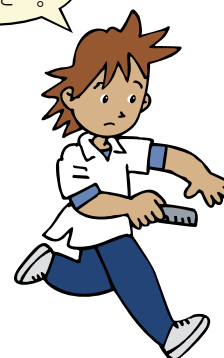
① 器具の^{せんじょう}洗浄と^{しょうどく}消毒

消毒する前に家庭用洗剤をつけたスポンジなどを用いて、器具の表面をこすり、十分な流水（10秒間以上、1リットル以上）で洗浄します。



①流水で洗うだけでなく、^{こすり}擦り洗いをします。血液が付着している器具は、時間がたつにつれ、擦り洗いをしても落ちにくくなりますので、ただちに洗うことが大切です。

血が付いたらすぐに…。



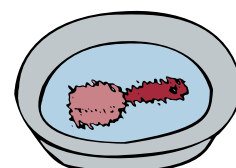
②スポンジなどは自分の手を傷つけないように柄の付いたスポンジなどを用いるのが良いでしょう。



③洗浄するとき、流水が飛散しないように注意することが必要です。

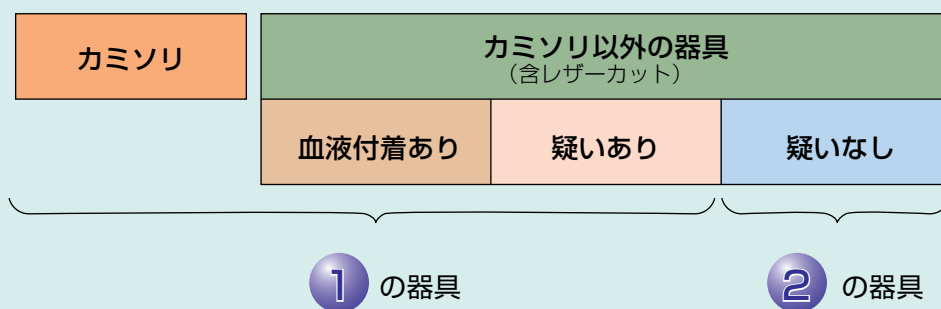


④洗浄に使用したスポンジなどは使用後、流水で十分洗浄し、汚れのひどい場合は76.9v/v%～81.4v/v%エタノール液（消毒用エタノール）または次亜塩素酸ナトリウム液で消毒します。



2 カミソリ以外の器具で血液が付着している疑いのないもの

例えば、はさみ、くし、ブラシなど



消毒は、次のいずれかの方法を行います

しゃぶつ
煮沸消毒器による消毒

沸騰してから 2 分間以上煮沸します。



※1
エタノールによる消毒

76.9v/v%~ 81.4v/v%
エタノール液（消毒用エタノール）中に 10 分間以上浸します。



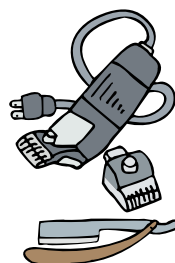
※2
じあえんそざん
次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

0.1%次亜塩素酸ナトリウム液（有効塩素濃度 1,000ppm）中に 10 分間浸します。



注

- ①クリッパーは刃をはずして消毒します。
- ②替え刃式カミソリのホルダーは、刃をはさむ内部が汚れやすいので、刃をはずしてろ紙などを用いて清掃します。



洗淨
と消毒が完了
しました。5 ページの「消毒後の水洗など」に進みます。

※1 消毒用エタノールを希釈せずに使用することが望ましいですが、無水エタノールまたはエタノールを使用する場合は、消毒用エタノールと同等の濃度に希釈して使用します。

※2 次亜塩素酸ナトリウム液は、保管中に塩素濃度の低下がみられるので、希釈した消毒薬の有効塩素濃度を確認することが望ましいです。

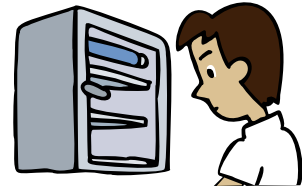
② の器具の洗浄と消毒 ① の器具と同じように洗浄して汚れを落としておくことが大事です。

① の器具と同様の消毒方法

煮沸消毒器、エタノール、次亜塩素酸ナトリウム液による消毒のいずれか。

紫外線照射による消毒

紫外線消毒器内の紫外線灯より $85\mu\text{w}/\text{cm}^2$ 以上の紫外線を連続して、20 分間以上照射します。



蒸し器などによる蒸気消毒

80℃をこえる蒸気に 10 分間以上触れさせます。



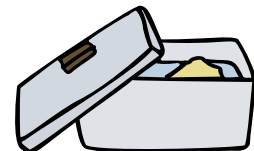
エタノールによる消毒

76.9v/v%～81.4v/v%エタノール液（消毒用エタノール）を含ませた綿もしくはガーゼで器具表面をふきます。



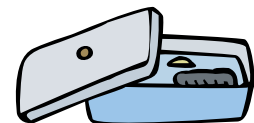
次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

0.01%～0.1%次亜塩素酸ナトリウム液（有効塩素濃度 100～1,000ppm）中に 10 分間以上浸します。



逆性石ケン液による消毒

0.1%～0.2%逆性石ケン液（塩化ベンザルコニウムまたは塩化ベンゼトニウム）中に 10 分間以上浸します。



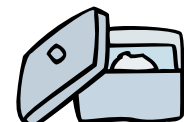
グルコン酸クロールヘキシジンによる消毒

0.05% グルコン酸クロールヘキシジン液中に 10 分間以上浸します。



両性界面活性剤による消毒

0.1%～0.2%両性界面活性剤液（塩酸アルキルポリアミノエチルグリシンまたは塩酸アルキルジアミノエチルグリシン）中に 10 分間以上浸します。



消毒は、
右のいずれかの
方法を行います。



※理容所・美容所で、現在保有しているクレゾール石ケン液については、在庫がなくなるまで、または使用期限まで使ってよいことになっています。

消毒後の水洗など

- 1 消毒した後は流水でよく消毒液を洗い流しておき、刃物は必要に応じて油を差しておきます。
- 2 消毒した器具は使用済みのものと区別して、収納ケースなどに保管します。



タオル類の消毒

- 1 加熱による場合は、使用したタオルおよび布類を洗剤で洗浄した後、蒸し器などの蒸気消毒器に入れ、器内が 80℃をこえてから 10 分間以上保持させます。この場合、器内の最上部のタオルなどの中心温度が 80℃をこえていないことがあるので、蒸気が均等に浸透するように十分注意が必要です。
- 2 消毒液による場合は、使用したタオル、布類を次亜塩素酸ナトリウム液に浸し、消毒します。消毒終了後は、洗濯し、必要に応じて乾燥して保管するか、または蒸し器に入れます。次亜塩素酸ナトリウム液は、消毒作用のほか漂白作用もあるため、色物の消毒には適しません。タオルは白色を使用するようにしましょう。



※血液が付着したタオル、布類は、廃棄するかまたは血液が付着している器具と同様の洗浄および消毒を行います。

手指の消毒

- 1 お客様1人ごとに手指の消毒を行います。
- 2 血液、体液等に触れ、目に見える汚れがある場合、あるいは、速乾性擦式消毒薬が使用できない場合は、流水と石けんを用いて少なくとも手指を15秒間洗浄します。
- 3 上記以外の場合は、速乾性擦式消毒薬を乾燥するまで擦り込んで消毒します。



その他の消毒

- 1 シェービングカップなどの間接的に皮ふに接する器具類についても、その材質に応じ、以上に掲げた消毒方法のいずれかの方法により消毒をします。
- 2 理容所・美容所内の施設、毛髪箱、汚物箱などの設備については、適宜、消毒します。



Q1 希釈した消毒薬は、どのくらいもちますか。

A. 消毒用エタノールは希釈しないので、蒸発、汚れの程度にもよりますが、7日以内に取り替えます。その他の希釈した消毒薬は、毎日取り替えます。
また、次亜塩素酸ナトリウム液の製品は、保管中に塩素濃度が薄くなることがあるので、有効塩素濃度を試験紙を用いて確認するようにします。



Q2 消毒薬の希釈方法はどちらが正しいですか。

A. 消毒薬は1種類の濃度の製剤ではなく、数種類の濃度が市販されています。元の濃度が何%であるか確認しておく必要があります。

《例》10%塩化ベンザルコニウム液より、0.2%液 2 リットルを作るとき、使用する原液の必要量 (X) は、

$$\frac{\left(\frac{10}{100}\right) \times X}{2000} \times 100 = 0.2$$

$$X = 0.2 \times 2000 \div 10$$

$$= 40$$

したがって、10%塩化ベンザルコニウム液 40ml に水 1960ml を加えて作ります。



ウイルスに感染する危険性



ヒト免疫不全ウイルス (HIV)、B型肝炎ウイルス (HBV)、C型肝炎ウイルス (HCV) は、血液を媒体として感染することがあります。理容所や美容所においては、カミソリの刃などについて感染者の血液が、理容師や美容師、他のお客さんの傷口などから体内に入り、2次感染を及ぼす危険性があります。

HIV に感染して引き起こされるエイズは、免疫機能が働かなくなり、細菌やウイルス、カビなどに対する抵抗力が衰える深刻な病気です。HBV・HCV への感染による B型肝炎・C型肝炎は、慢性肝炎となり、それがやがて肝硬変や肝臓がんにつながる可能性があります。

参考：「やさしい肝炎の話」「これだけは知っておきたいウイルス肝炎」など ((財)ウイルス肝炎研究財団)

あります。なかでも、C型肝炎は、自然治癒することが極めてまれであり、肝硬変の原因の半分以上が HCV により引き起こされています。

しかし、HIV 感染からエイズ発症までは、平均約 10 年という長い時間がかかります。また、B型肝炎やC型肝炎に関しても、感染後すぐには症状の出ない人が大多数です。いずれも、感染者本人が感染していることを自覚しないままに第三者に感染させる危険があるウイルスですので、理容所や美容所でも、消毒を徹底するなど十分な注意が必要です。

平成 22 年 10 月

編集・発行／(財)全国生活衛生営業指導センター

〒105-0004 東京都港区新橋 6-8-2

全国生衛会館 2F

TEL 03 (5777) 0341

FAX 03 (5777) 0342